

議会広報編集 特別委員会

委員長 新山 玄雄

当委員会では、議会活動を積極的に情報発信するとともに「議会だより」の更なる充実に、調査・研究に取り組みつつ、「伝える広報から伝わる広報へ」を目指し、編集と発行を行った。

現在の発行部数は、1回につき9,500部、編集作業は、最も重要となる表紙の写真選定に始まり、議員各位から提出された原稿チェックと校正を行い、定例会の翌月、町の文書配布日に発行している。

表紙については、これまでの慣習にとらわれず、読者の目を引く写真を用いるように心掛け、記事の内容には従来の定例会の概要、一般質問、防災コーナーに加え、議会活動の一端を多くの方々に知り得てもらえる

取り組みとして、議員が出席した会議や式典、研修会や視察への参加要請活動を時系列にした「議会活動報告」を掲載した。

研修は、山口県町議会議長会が主催する広報研修会に参加している。この研修会は、県内各町の議会広報担当者が集まり、「幅広い世代で理解しやすい紙面づくり」「住民参加型の取り組み」「読みやすさの工夫」「アンケートの実施」「レイアウトの工夫」などについて、課題を持ち寄り、多くの意見と情報を交換することで知識を高めた。

最後になるが、新型コロナウイルス感染症の影響で、イベントの中止、議会活動の中止等、写真や記事内容の情報収集に苦労をしたことはいまでもないが、多くの方に読んでいただくためには、まず手に取って見てもらうことが第一である。今後、も更なる充実を目指し、より多くの方々に関心を持っていただける「議会だより」が発行できるよう、日々研鑽を重ねたい。

防災コーナー

自然災害への備えは万全ですか？
チェックしてみよう！

防災対策特別委員会

自宅のある場所に、どんなリスクの
災害があるか考えた事がありますか？

町が公表している災害リスクに関する情報（高潮・洪水ハザードマップ、土砂災害ハザードマップ、津波ハザードマップ、震災防災マップ）を確認し、自宅のある場所にどんな災害のリスクがあるのか確認しましょう。また、避難とは、「難を避けること」と言われています。災害時にどこに避難すればいいのかを確認し、家族で話し合しましょう。

↓ 各戸へ配布されている資料



※高潮・洪水ハザードマップ、土砂災害ハザードマップ、津波ハザードマップ、震災防災マップは、町のホームページでも確認することができます。



↑ 非常持ち出し袋の中